

盛岡市・岩手大学 地域課題解決共創事業
『One+(ワンプラス)』募集要項

1 概要

盛岡市と岩手大学は、地域課題に取り組む人材の育成を目的として、学生団体やプロジェクト（以下、「団体等」という。）の支援のため、地域課題解決共創事業『One+(ワンプラス)』を実施します。

この事業では、最大 20 万円の活動費支援を通じて、盛岡市の地域活性化や産業振興に貢献する団体等を支援します。

2 申請要件

次の要件を満たす団体等の申請を受け付けます。

- (1) 岩手大学に在籍する学生を主として構成する団体等であること
- (2) 取り組むテーマが盛岡市の地域活性化や産業振興に貢献するプロジェクトであること、または特定テーマに合致するプロジェクトであること

※テーマは「一般テーマ型（自由提案型）」と「特定テーマ型」のいずれかを選択すること

【一般テーマ型（自由提案型）】

テーマ	概 要
盛岡市の地域活性化や産業振興に貢献するプロジェクトの提案	学生の視点から自由に提案されたアイデアに基づいて、テーマに関する新たなプロジェクトを実施するもの

【特定テーマ型】

※各テーマの詳細は、別紙の特定テーマ申請書の内容をご参照ください。

	テーマ	市担当部局
①	「ガクチカ」は、まちで育つ。 ～まちで遊び、学び、つながる大学越境学生プラットフォームの試み～	総務部管財課 新市庁舎整備室
②	学生の視点で再発見！JR 山田線の魅力と可能性	建設部
③	みんなが支える公共交通 ～支える側に回って見た～	交通政策課
④	「映画の街盛岡」を盛り上げよう！	商工労働部
⑤	ゆかたで盛岡まちなかを遊び尽そう！ ～回遊型ゆかたフェス拡張プロジェクト～	経済企画課
⑥	“行きたくなる手づくり村” SNS・デジタル戦略プロジェクト	商工労働部 ものづくり推進課

3 教職員等による活動支援について

活動の円滑な推進のため、岩手大学教職員、盛岡市職員及び盛岡市共同研究員が運営チームとしてサポートします。

また、必要に応じ、盛岡市が実施する各事業の概要や制度、関係施策等に関するセミナーやワークショップ等を実施します。

4 申請方法

申請期限：5月29日（金）17時

別紙申請書に必要事項を記入し、kyoso@iwate-u.ac.jpへ提出してください。

申請に関して不明な点や相談がある場合、岩手大学地域協創教育課までご連絡ください。

また、申請の際は次の点に注意してください。

- ・支援対象期間は令和9年3月末までとする。
- ・申請金額の上限は20万円とする。
- ・活動計画に具体性があり、経費の使途が妥当であることを必須とする。

5 審査・採択

提出された申請書により審査（必要に応じてヒアリング）を行い、6月上旬に結果を申請団体等代表者のメールアドレスに通知します。

採択件数は予算の範囲内で採択するものとします。

採択された団体等には、活動費（上限20万円）を支援します。活動終了後に報告書（様式等は後日連絡）を提出いただきます。

6 採択後のスケジュール（予定）

実施時期		実施内容
R8	8月上旬	キックオフミーティング・活動開始
	11月	活動中間報告会
R9	2～3月	活動成果報告会

※ 上記の他、団体等と運営チームとで、活動の進捗状況確認や困り事への相談に関するミーティングを実施予定です。（月1回程度）

7 活動費

(1) 活動費による物品等購入の支払いは、岩手大学学務課地域協創教育課を通して行います。詳しくは採択後にお知らせします。

(2) 活動費は採択日以降に使用が可能となります。採択日前に購入したものについては、経費の対象となりませんので、ご注意願います。

- (3) 活動費は飲食、県外への旅費、単価が税込 10 万円以上の物品購入、物品等販売などの収益事業には使用できません。物品等販売などの収益事業を含む計画を申請しようとしている場合は、事前に事務局に相談してください。
- (4) 税込 10 万円以下でも、換金性の高い物品を購入する場合は、事前に事務局に相談してください（事業終了後に事務局に当該物品を返納いただく場合があります）。詳しくは採択後にお知らせします。

8 留意事項

- (1) 配分された予算を使い、学生のみで自家用車・レンタカーで移動することは禁止します。
- (2) 採択された団体等の岩手大学所属学生は学生教育研究災害傷害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険（学研賠）等への加入を必須とします。他大学学生、地域住民は自己の責任で保険に加入した上で、事業に参加するようにしてください。

9 申請書提出先・問い合わせ先

岩手大学地域協創教育課 馬場

kyoso@iwate-u.ac.jp 内線：6633